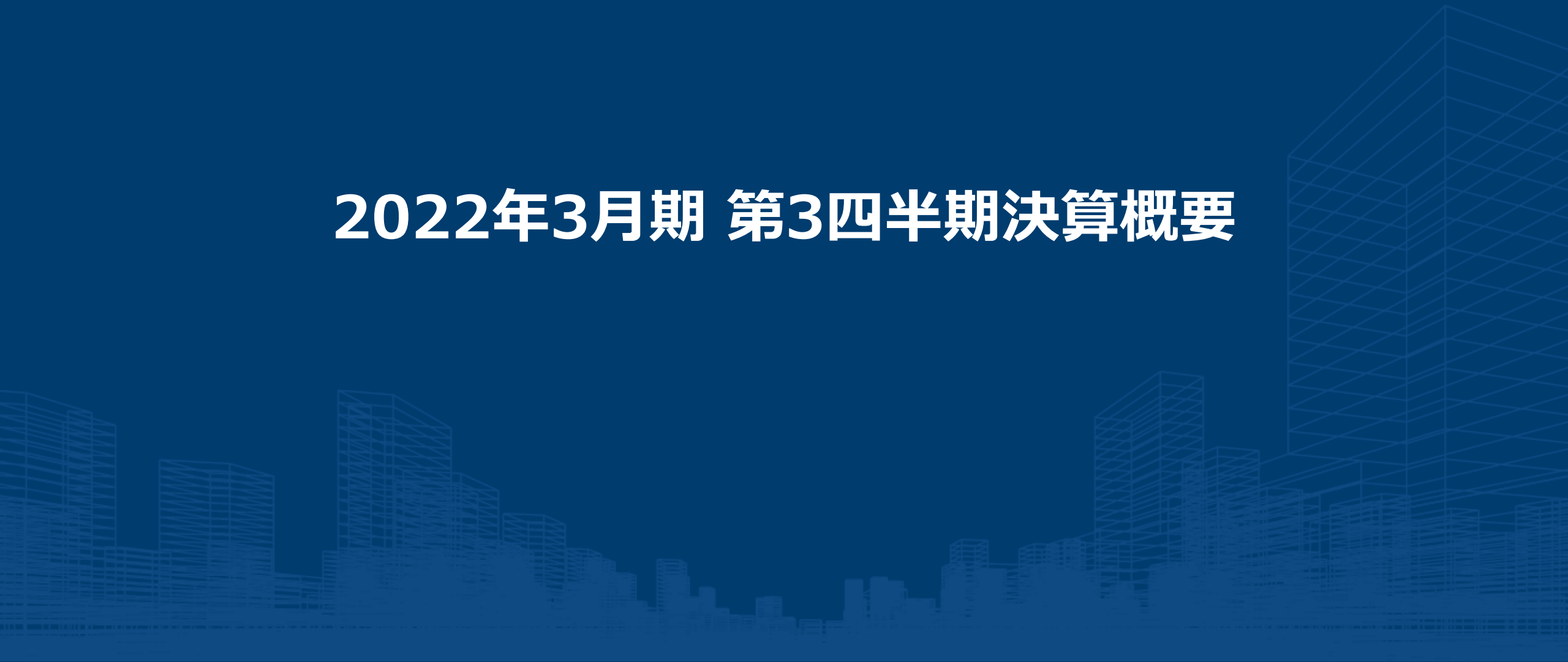


株式会社ラック

2022年3月期 第3四半期決算説明資料

2022年2月9日

2022年3月期 第3四半期決算概要



セキュリティ事業の拡大により増収
事業拡大に向けた販売体制等の強化により営業利益は減益
四半期純利益は子会社株式売却益および投資有価証券売却益の計上により増益

（百万円）

科目	'21年3月期 3Q累計実績	'22年3月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	30,280	30,612	+332	+1.1
営業利益	420	365	△55	△13.1
営業利益率%	1.4	1.2	△0.2p	-
経常利益	458	453	△4	△1.0
経常利益率%	1.5	1.5	0.0p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	237	525	+288	+121.7

- （注） 1. 子会社株式売却益219百万円、投資有価証券売却益55百万円を特別利益として計上しています。
2. 当社グループの事業の特徴として、特にセキュリティ事業の売上の計上が第4四半期連結会計期間に著しく偏る季節性があります。

セキュリティ事業は大幅に増収・増益、SI事業は減収・減益 全社共通費用は概ね横這いで進捗

（百万円）

売上高	'21年3月期 3Q累計実績	'22年3月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	12,392	13,531	+1,139	+9.2
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	17,887	17,080	△807	△4.5
合計	30,280	30,612	+332	+1.1

セグメント利益	'21年3月期 3Q累計実績	'22年3月期 3Q累計実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	1,003	1,133	+130	+13.0
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	2,132	1,980	△152	△7.1
合計	3,135	3,114	△21	△0.7

全社共通費用	△2,715	△2,748	△33	-
--------	--------	--------	-----	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

製品販売、コンサルティングがけん引し大幅に増収・増益

コンサルティングサービス

企業に対するサイバー攻撃が依然として猛威を振うなか、緊急対応サービスが大きく伸長

診断サービス

標的型攻撃メールに対する予防訓練サービスやプラットフォーム診断サービスは増加したものの、緊急事態宣言下でのお客様のシステム開発延期、競争激化の影響を受けてWeb診断サービスが落ち込み減少

運用監視サービス

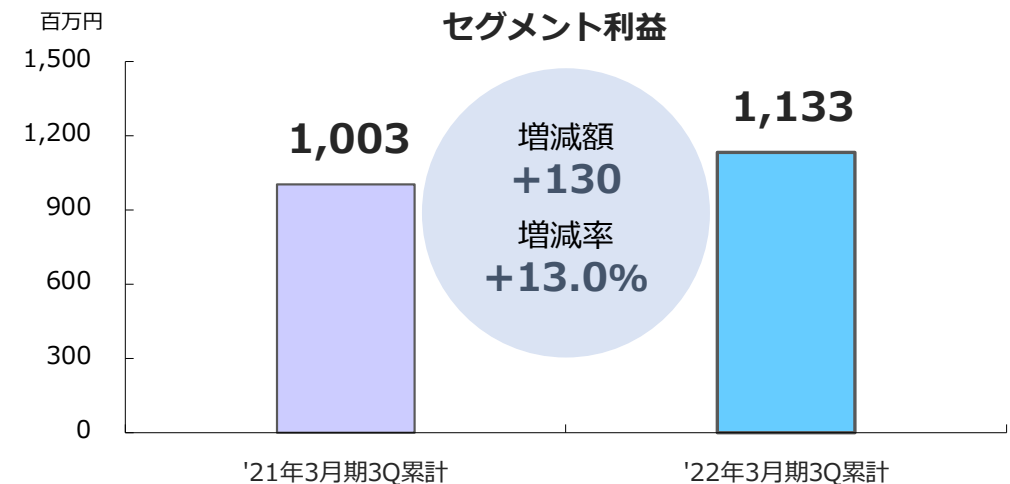
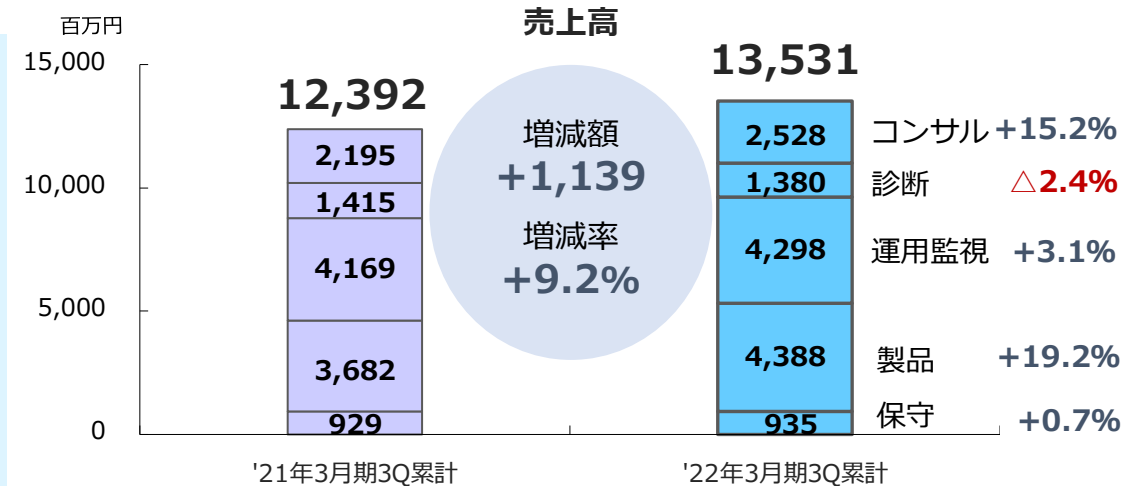
子会社ラックサイバーリンクにおける人材派遣ビジネスの戦略的縮小による売上減があったものの、運用監視サービスの既存案件および新規導入案件の進捗が堅調に推移

製品販売

エンドポイント対策およびサービス妨害型攻撃にも対応したWebセキュリティ対策をはじめとするクラウド対応製品などが拡大

保守サービス

クラウド対応製品への拡大影響はあったものの、既存案件の更新増で微増



子会社の事業譲渡の影響等によりIT保守が低調に推移し減収・減益

開発サービス

一部金融業向けの新規開発案件が滞ったことや公共関連の大型案件の終息などの影響があったものの、サービス業や製造業向けに案件が拡大

HW／SW（ハードウェア・ソフトウェア）販売

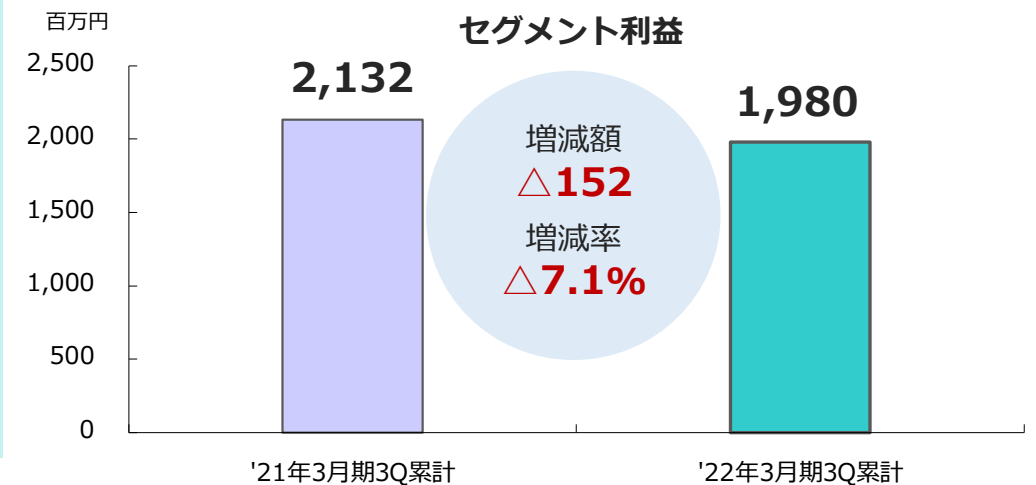
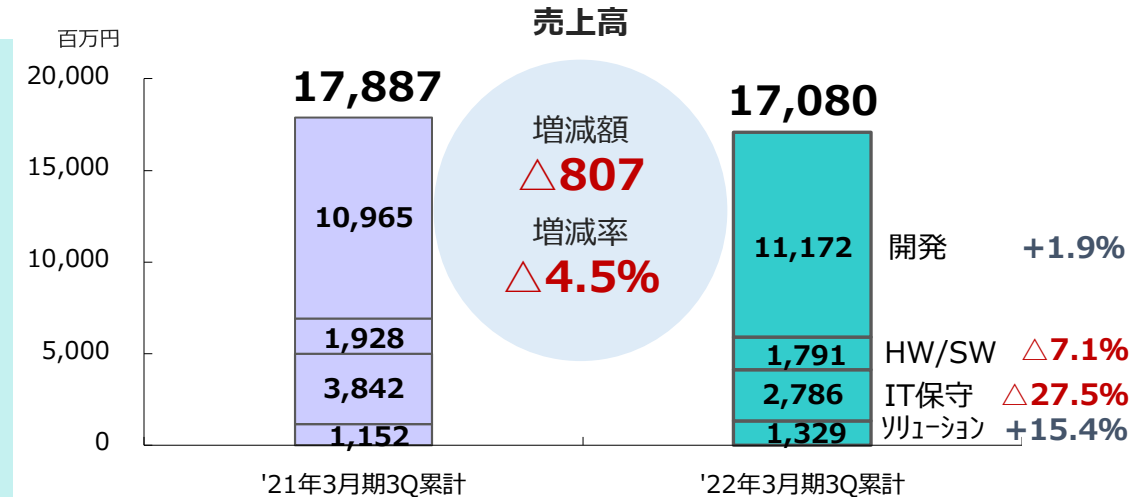
クラウドサービスの拡大等で需要が縮小したことで更新案件が減少

IT保守サービス

HW／SW関連の保守契約において、前年同期は大型案件があったものの当四半期連結累計期間は同様の案件がなかったこと、また子会社の事業譲渡の影響等により減少

ソリューションサービス

マルチクラウド開発管理などクラウド関連のソリューション販売が好調に推移



(参考) 連結決算・セグメント別業績 (10-12月 前年同期比)

(百万円)

科目	'21年3月期 3Q実績	'22年3月期 3Q実績	前年同期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	10,775	10,943	+168	+1.6
営業利益	409	410	+1	+0.4
営業利益率%	3.8	3.8	△0.0p	-
経常利益	456	438	△17	△3.9
経常利益率%	4.2	4.0	△0.2p	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	193	399	+205	+106.2
売上高				
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	4,724	4,854	+130	+2.8
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	6,051	6,089	+37	+0.6
合計	10,775	10,943	+168	+1.6
セグメント利益				
セキュリティソリューションサービス (SSS) 事業	510	542	+31	+6.1
システムインテグレーションサービス (SIS) 事業	736	778	+42	+5.7
合計	1,247	1,320	+73	+5.9
全社共通費用	△837	△909	△72	-

事業運営上の必要資金を継続保持しつつ、安定した財務基盤を維持

（百万円）

科目	‘21年3月期末	‘22年3月期 3Q末	前期末比 増減
資産合計	24,626	21,457	△3,168
流動資産	16,349	13,401	△2,947
固定資産	8,277	8,056	△221
負債合計	12,965	9,639	△3,326
流動負債	10,032	8,007	△2,024
固定負債	2,933	1,631	△1,301
純資産合計	11,661	11,818	+157
現預金	6,367	5,351	△1,015
有利子負債	4,843	3,123	△1,720
自己資本比率	47.3%	55.1%	+7.7p

増減ポイント

資産

【流動資産】

受取手形、売掛金及び契約資産の減少	△2,225
現金及び預金の減少	△1,015

負債

【流動負債】

その他に含まれる未払金の減少	△465
未払法人税等の減少	△421
1年内返済予定の長期借入金の減少	△366

【固定負債】

長期借入金の減少	△1,332
----------	--------

純資産

【純資産】

期末配当などによる利益剰余金の減少	△97
その他有価証券評価差額金の増加	+255

2022年3月期 連結業績予想

(2021年5月12日発表から変更ありません)



売上伸長を見込むものの、基幹システム刷新等のIT投資や
販売・管理費の増加などにより営業利益は前期並となる予想
当期純利益は大幅増益の予想

（百万円）

科目	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	43,693	47,200	+3,506	+8.0
営業利益	2,117	2,100	△17	△0.8
営業利益率%	4.8	4.4	△0.4p	-
経常利益	2,242	2,075	△167	△7.4
経常利益率%	5.1	4.4	△0.7p	-
親会社株主に帰属する当期純利益	304	1,390	+1,085	+356.1
自己資本当期純利益率(ROE)%	2.6	11.2	+8.6p	-

（注）前期比で社内IT投資は約3.5億円増加する見込みです。

セキュリティ事業は増収かつ大幅増益、SI事業は増収も利益は微減 基幹システムの社内IT投資などにより全社共通費用は増加

（百万円）

売上高	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	18,659	20,500	+1,840	+9.9
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	25,033	26,700	+1,666	+6.7
合計	43,693	47,200	+3,506	+8.0

セグメント利益	'21年3月期 通期実績	'22年3月期 通期予想	前期比	
			増減額	増減率(%)
セキュリティソリューションサービス（SSS）事業	2,541	3,400	+858	+33.8
システムインテグレーションサービス（SIS）事業	3,172	3,100	△72	△2.3
合計	5,714	6,500	+785	+13.7

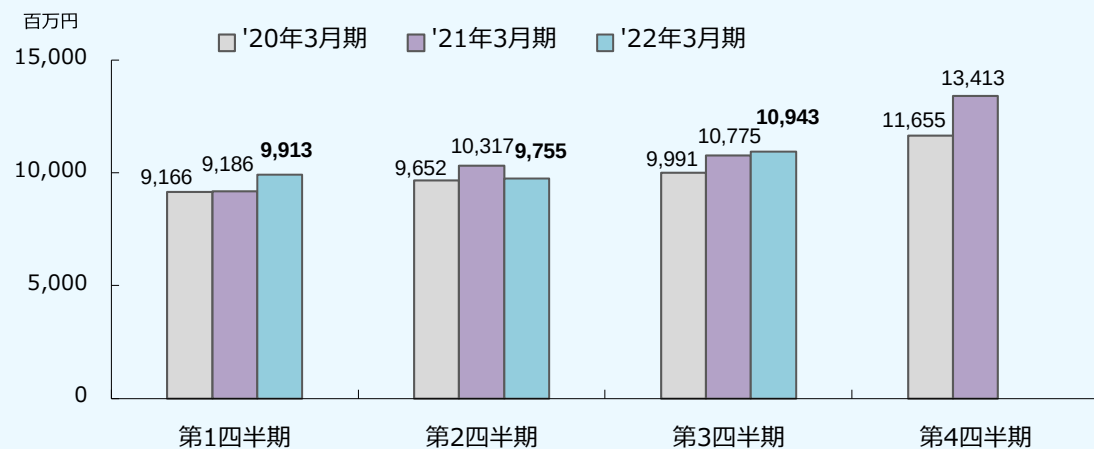
全社共通費用	△3,597	△4,400	△802	-
--------	--------	--------	------	---

（注）セグメント利益は、全社共通費用を組み入れる前の、事業にかかる販売費および管理費を含めた利益です。

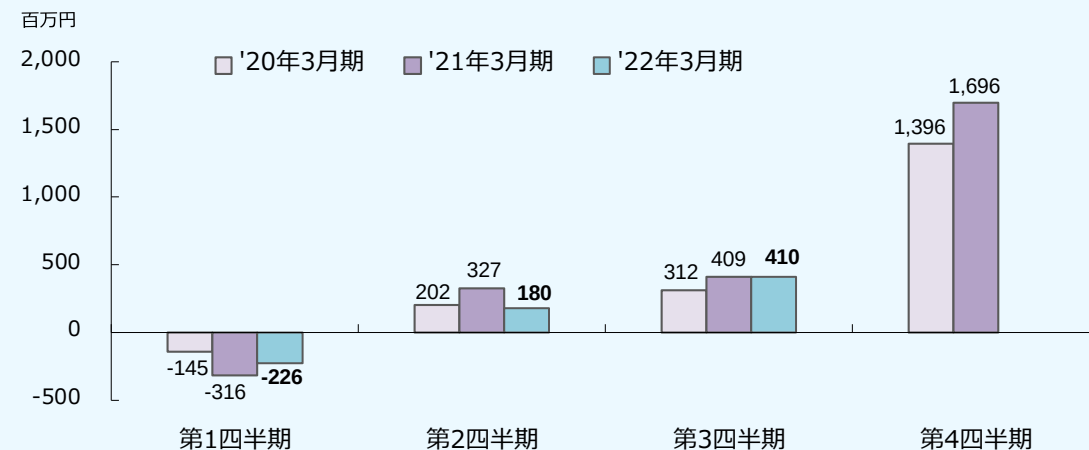
補足資料



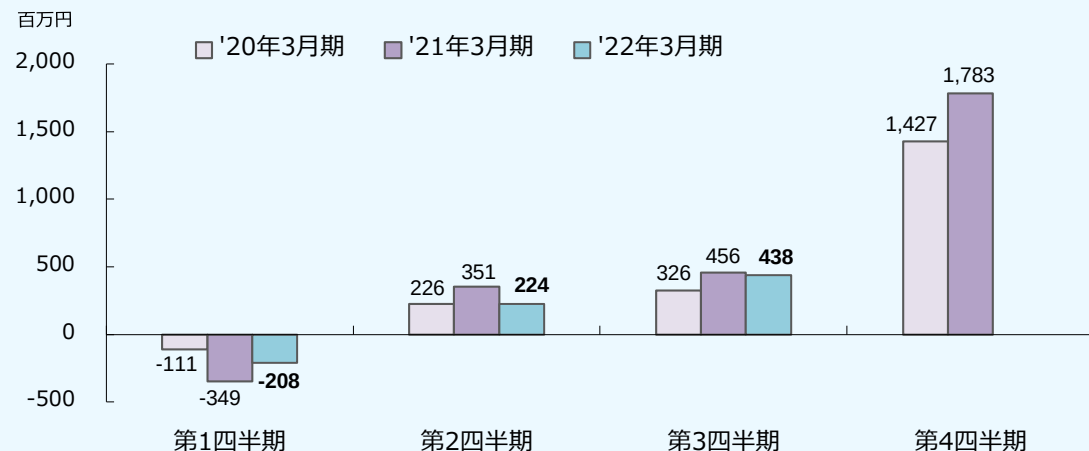
売上高



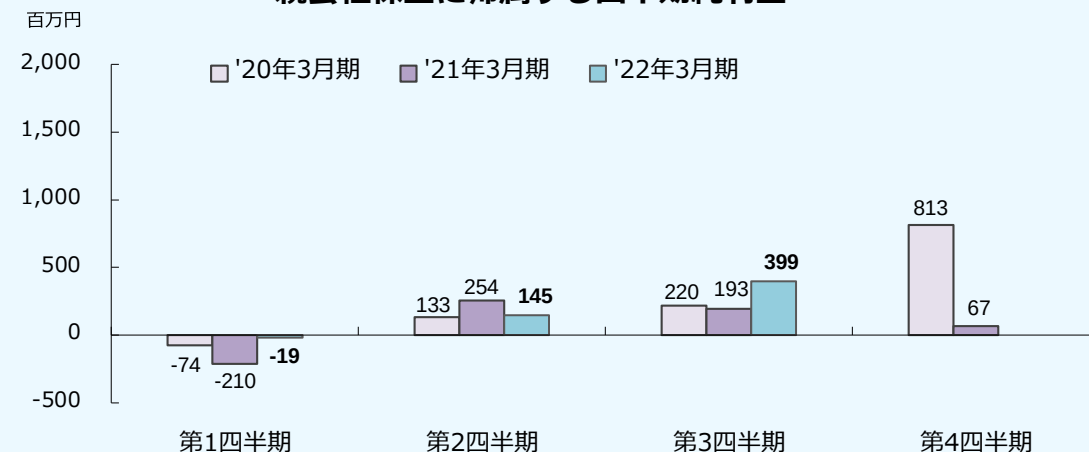
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



連結業績・セグメント別推移（四半期）

(百万円)

連結業績	'20.3月期				'21.3月期				'22.3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	9,166	9,652	9,991	11,655	9,186	10,317	10,775	13,413	9,913	9,755	10,943	
売上原価	7,433	7,714	7,897	8,476	7,571	8,117	8,565	9,860	8,094	7,670	8,581	
売上原価率 (%)	81.1	79.9	79.0	72.7	82.4	78.7	79.5	73.5	81.7	78.6	78.4	
販売費及び一般管理費	1,878	1,735	1,781	1,781	1,931	1,873	1,800	1,855	2,045	1,904	1,951	
売上高販管費比率 (%)	20.5	18.0	17.8	15.3	21.0	18.2	16.7	13.8	20.6	19.5	17.8	
営業利益	△145	202	312	1,396	△316	327	409	1,696	△226	180	410	
売上高営業利益率 (%)	△1.6	2.1	3.1	12.0	△3.4	3.2	3.8	12.7	△2.3	1.9	3.8	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△74	133	220	813	△210	254	193	67	△19	145	399	
売上高四半期純利益率 (%)	△0.8	1.4	2.2	7.0	△2.3	2.5	1.8	0.5	△0.2	1.5	3.6	

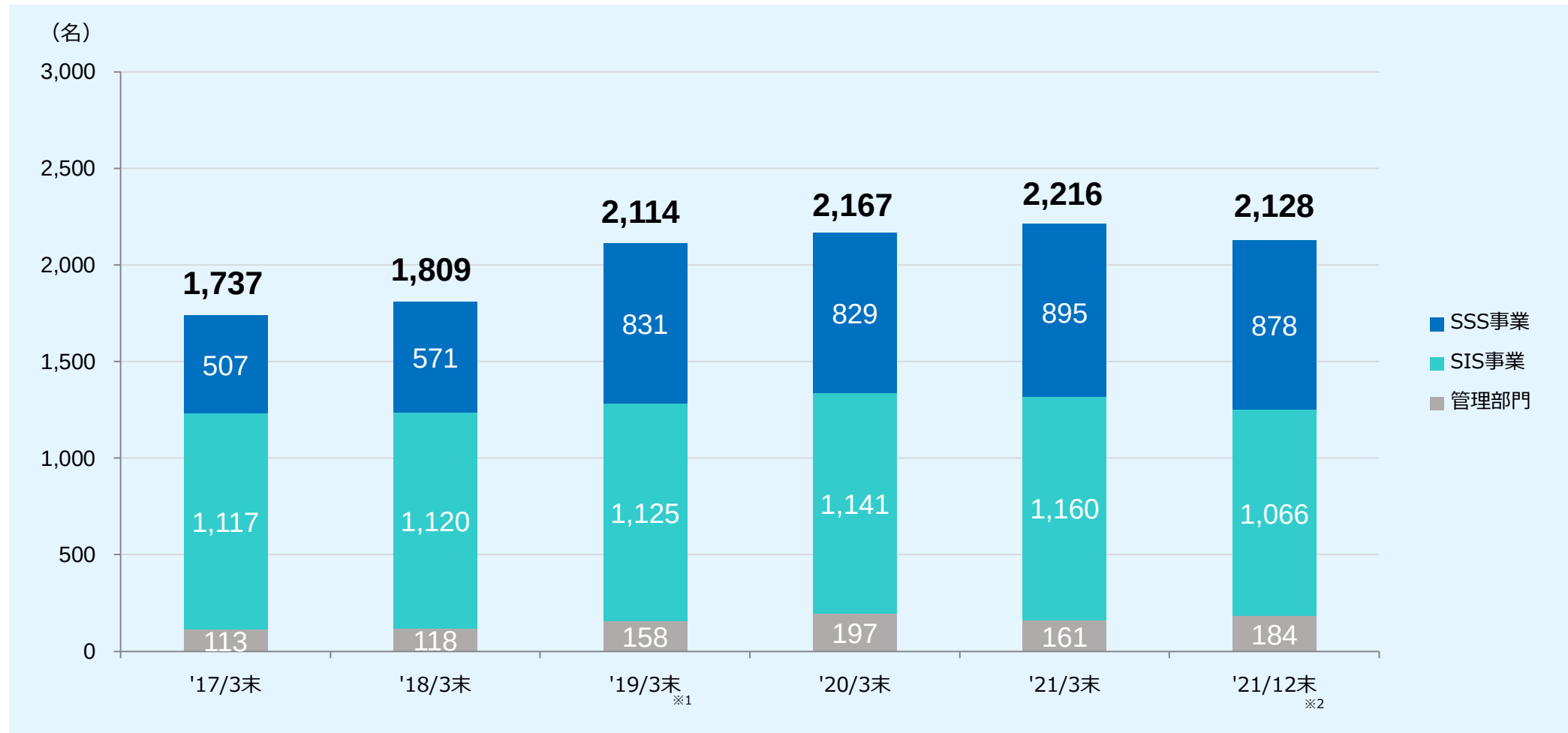
セキュリティソリューションサービス事業（SSS事業）

売上高	コンサルティングサービス	517	715	688	1,224	592	777	825	1,315	740	905	881
	診断サービス	423	440	525	941	310	591	512	1,236	411	504	464
	運用・監視サービス	1,309	1,318	1,526	1,604	1,352	1,407	1,409	1,823	1,405	1,385	1,507
	製品販売	978	869	1,113	884	1,120	960	1,601	1,380	1,555	1,261	1,570
	保守サービス	425	305	306	326	328	225	374	511	311	194	430
	合 計	3,653	3,650	4,160	4,981	3,704	3,963	4,724	6,267	4,425	4,251	4,854
セグメント利益		293	361	423	1,359	55	436	510	1,538	208	383	542

システムインテグレーションサービス事業（SIS事業）

売上高	開発サービス	3,318	3,947	3,565	4,455	3,318	3,855	3,791	4,351	3,343	3,821	4,007
	HW／SW販売	610	486	749	715	451	950	526	713	440	551	799
	I T 保守サービス	1,252	1,173	1,188	1,054	1,335	1,149	1,357	975	1,171	711	903
	ソリューションサービス	331	394	327	448	376	399	376	1,105	532	419	378
	合 計	5,513	6,002	5,831	6,673	5,482	6,354	6,051	7,145	5,488	5,503	6,089
セグメント利益		526	695	764	919	587	808	736	1,039	507	694	778

全社共通費用	△965	△854	△875	△881	△959	△918	△837	△881	△942	△896	△909	
--------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	------	--

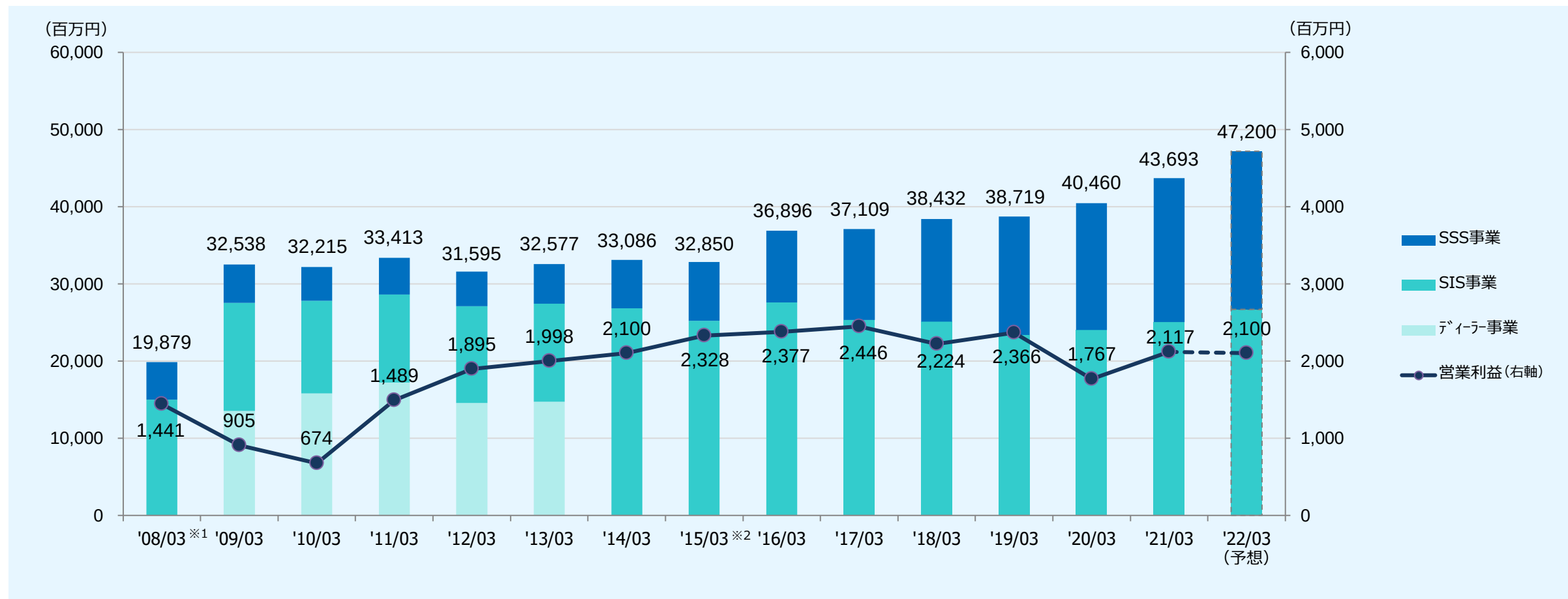


※1 2019年3月期以降のSSS事業における連結従業員数は、2018年4月2日に子会社化した(株)アジアリンク（現 (株)ラックサイバーリンク）の従業員が含まれています。

※2 SSS事業において、第1四半期に(株)アジアリンクが(株)ラックサイバーリンクを存続会社として吸収合併したことによる減少影響（21年3月末比較：30名）があります。

SIS事業において、2021年6月28日にアイ・ネット・リリー・コーポレーション(株)の全株式を売却し、連結の範囲から除外していることから、同社の従業員数（21年6月末時点：97名）が除外されています。

連結業績推移（セグメント別）



※1 旧ラックとA&Iの経営統合初年度である'08年3月期の業績には、旧ラックが決算期を12月から3月に変更したことから旧ラックは'07年1月1日～'08年3月31日までの15ヶ月決算を反映していますが、本資料では、同一期間で比較するため'07年1月1日から'07年3月31日までの旧ラックの個別業績（売上高2,019百万円、営業利益329百万円）を差し引き、1年換算とした場合の想定実績で記載しています。

※2 事業セグメントの変更は'15年3月期からですが、セグメント別の業績を比較するため、その前年度である'14年3月期も同条件で組み替えた場合の想定実績で記載しています。

事業トピックス



(株)野村総合研究所（NRI）と資本業務提携、同社と(株)KDDIに新株発行による第三者割当を実施 NRIと合併会社を設立するなど、セキュリティ事業拡大に向けた取り組みを推進

NRIとの資本業務提携

(2022年1月21日)

- ・ NRI子会社のNRIセキュアテクノロジーズ(株)とタッグを組み、クラウドプラットフォームに対するマネージドセキュリティサービス（MSS）を提供する合併会社の設立、運営
- ・ 新たな市場、技術分野に対するセキュリティサービス、ソリューションの共同開発、提供

合併会社名：ニューリジェンセキュリティ(株)

所在地：東京都渋谷区 予定

設立年月日：2022年3月14日

資本金：2億円

出資比率：NRI 50% ラック 50%

1. 両社の事業基盤(システム、Threat Intelligence、運用ノウハウ)の共有
2. AIを活用した高度自動化による高品質、低価格なサービスの早期開発、提供

NRI、KDDIへの新株発行による第三者割当

(2022年2月14日予定)

第三者割当後のNRI、KDDIの持株比率

	第三者割当前 (2021年9月30日現在)	第三者割当後
(有)コスモス(KDDI完全子会社)	26.46%	22.48%
KDDI(株)	5.43%	9.44%
(株)野村総合研究所	-	10.21%

※ 持株比率は発行済株式（自己株式647,579株を除く。）の総数に対する所有株式数の割合を記載しています。

資金使途予定

NRIとの合併会社設立 300百万円
(2022年3月)

成長市場を軸としたM&A、資本提携 2,678百万円
(22年4月～23年3月)

独自ソリューション開発への投資 300百万円
(22年4月～24年3月)

合計金額 3,278百万円

(株)イーアイセキュリティラボと連携し
自社運用できる自動診断サービスでWebサイトの安全な管理ができるよう支援

イーアイセキュリティラボは、
「AeyeScan」※により、診断対象となるWebサイトを自動で診断し、検出された脆弱性をレポート等で排出。

ラックは、診断ツールを使うための事前準備や検出された脆弱性の解説、脆弱性の修正方針の策定などを支援。

※Webサイトの脆弱性診断業務を自動化するRPA(ロボット・プロセス・オートメーション)と人工知能(AI)を使ったSaaS型Web診断プラットフォームのこと。



優先度が低く診断対象外だったWebサービスへの診断を
自社での内製化が可能となり、費用の抑制と時間短縮を実現

京セラコミュニケーションシステム(株)と協業し クラウドにおける高頻度な更新や、広範囲に及ぶ環境設定の不備への対応サービスを提供

京セラコミュニケーションシステムは、米セキュリティ業界標準となるベンチマークや、クラウドベンダーの推奨設定を基準にクラウドサービスの環境設定不備の有無を診断。

ラックは、診断結果を基にサイバーセキュリティ事業で得た知見を用いて、企業特有の環境や前提条件に基づいた対策の優先度と対応策を提示。



<対応するSaaS>

Box/Google Workspace/Microsoft 365/Salesforce※/Zoom

※Salesforce製品における対象は、Sales Cloud、Service Cloud、Experience Cloud（Partner Community、Customer Community）

<診断項目>

アカウント/認証、データの権限設定、共有設定、ログ・アラート管理、ストレージ管理、クラウドサービス特有の設定、その他の設定を対象

(株)エルテスと協業し
サイバー攻撃と内部不正の双方を監視できるワンストップサービスを提供

サイバー攻撃と内部不正の双方の監視を必要とする企業や、サイバー攻撃によるソーシャル被害の対策を必要とする企業に対して、ワンストップでサービスを提供することが可能となり、平時／有事の両面で事業継続のために必要なサポートをしていくことを目指す。

ラック

サイバー攻撃など「外部不正」に関する
専門的知見

<サービス内容>

【平時】
サイバー攻撃対策サービス

【有事】
インシデントレスポンスサービス

×

×

エルテス

内部からの情報持ち出しなど「内部不正」に
関する専門的知見

<サービス内容>

【平時】
インターナルリスクマネジメントサービス

【有事】
ソーシャルリスクマネジメントサービス

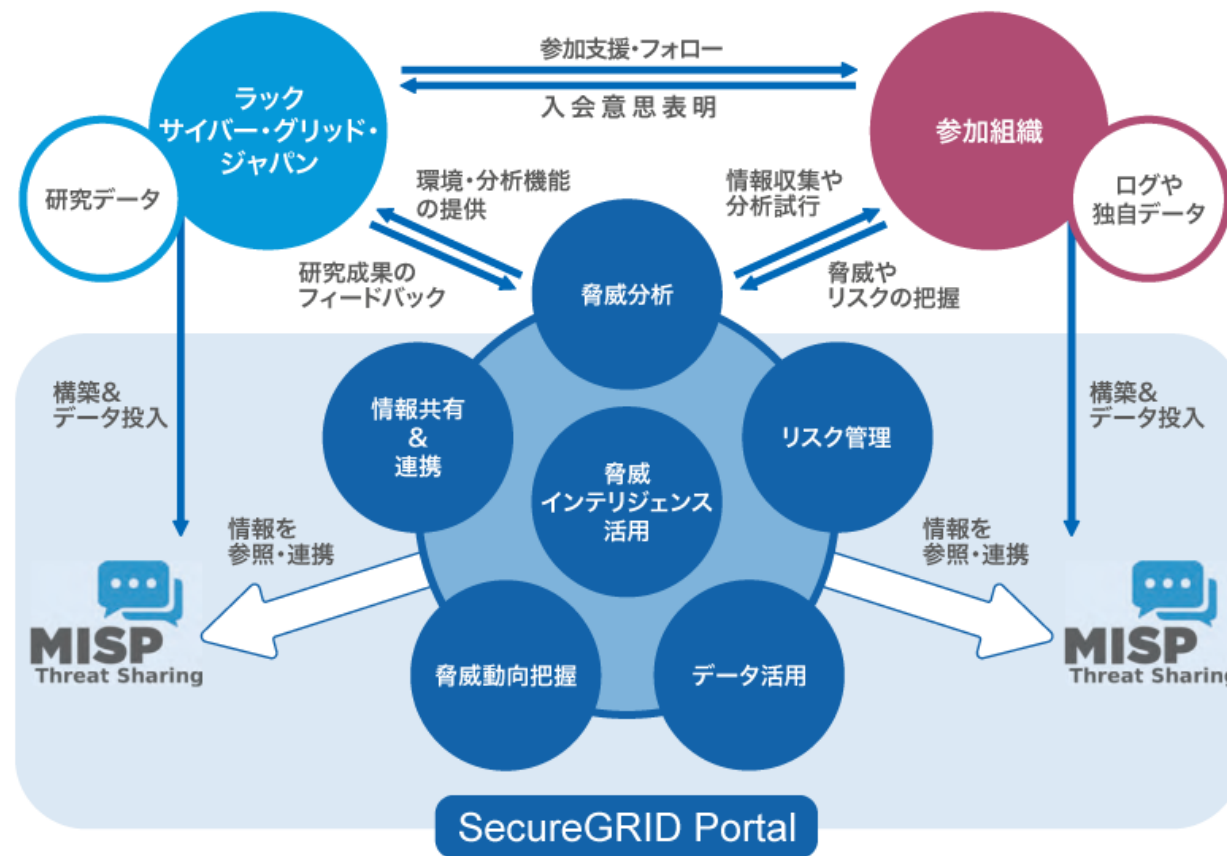
サイバーセキュリティの脅威情報を外部組織と相互に共有し、 組織のセキュリティ対策強化に役立てるアライアンス体制の構築

ラックが開発した「SecureGRID Portal」を介しオープンソースの情報共有プラットフォームである「MISP※1」に蓄えた脅威情報の共有・連携。

SecureGRIDアライアンスを活用して自社組織のセキュリティ強化に役立てる取り組みを行えるだけではなく、ラック サイバー・グリッド・ジャパン※2の研究成果の利用や、脅威分析・検証の研究推進の参画ができるなど、脅威情報の共有・連携の新しいカタチを創出。

※1: Malware Information Sharing Platform

※2: セキュリティ専門家によるラックの研究部門



デジタルの安全な利活用推進を進める「town構想」の一環として、 各種先端サービスの安心・安全を担うセキュリティプラットフォームの実証実験を推進

IoTの安全な利活用に関する共同研究を開始

長崎県立大学と、都市や街におけるICTの実使用環境を再現して様々な試験を行う産学連携の共同研究を開始。スマートシティにおける各種IoTデバイスを安全に管理するための脅威管理基盤の構築・運用技術確立を目指す（2021年5月に発表した長崎県立大学とラックと長崎県長与町との連携協定を活用）。

（2021年10月発表）

医師による診断を支援するAIエンジンの共同研究

山口大学、山口総合健診センターとともに、地域における健康診断データをクラウドプラットフォーム上で管理し、医師による診断を支援するAIエンジンを開発する共同研究を開始。

（2021年5月発表）

IoTセンサーネットワークによる地域課題解決の検証

長崎県長与町、長崎県立大学と、長与町における河川監視など各種センサーを設置し、地域社会の活性化やサービス向上に活用するプラットフォームの実証実験、地域のIoTセンサーネットワークの運用モデルの策定に向けた検証を開始。

（2021年5月発表）

ロボットと共生する街づくり実現に向けた共同事業

福島県南相馬市、㈱リビングロボットと提携して、ロボットと人が共に生きる「パートナー・ロボット・プラットフォーム」の実現を目指した共同事業を開始。

（2021年6月発表）

「姫島ITアイランド構想推進」への参画

大分県、姫島村と「姫島ITアイランド構想推進」に参画。各種センサーを島内に設置し、地域社会の活性化やサービス向上に活用するプラットフォームの実証実験、小規模自治体でのスマートシティ化モデル策定のための検証を開始。

（2021年7月発表）

他社に先駆けて始めたセキュリティ対策サービスと 独立系のITベンダーとして幅広い領域のSIサービスを提供

安心・安全なサイバー空間への貢献

SSS

セキュリティソリューションサービス

24時間365日、リアルタイムで監視する国内最大級のセキュリティ監視センターを軸に、大手企業や官公庁向けに総合的なセキュリティ対策サービスを提供しています。

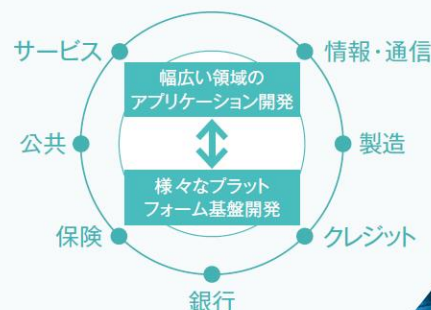


ITによる豊かな社会への貢献

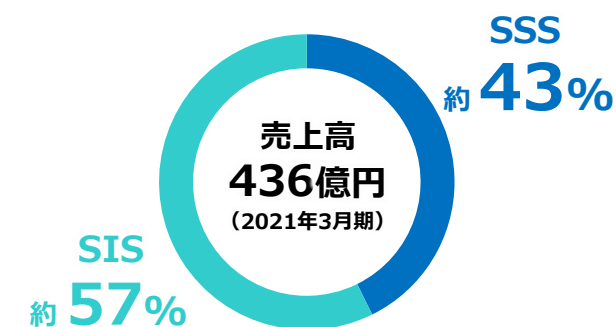
SIS

システムインテグレーションサービス

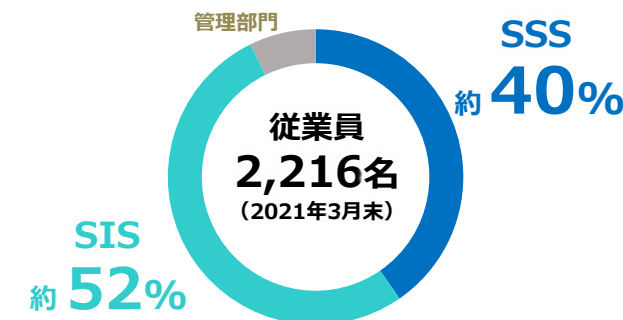
大手金融機関向け基盤システム開発のノウハウを強みに、幅広い業種のお客様へアプリケーションから基盤まで一貫したSIサービスを提供しています。



売上高構成比



人員構成比



(2021年12月31日時点)

会 社 名	株式会社ラック			
住 所	東京都千代田区平河町2-16-1 平河町森タワー			
設 立	2007年10月1日（前身となる旧ラックは1986年に設立）			
代 表 者	代表取締役社長 西本 逸郎			
資 本 金	10億円			
業 績	売上高 436億円 営業利益 21億円（2021年 3 月期）			
従業員数	連結 2,128名 単体 1,636名（2021年12月31日時点）			
拠 点	東陽町オフィス（東京都） 福岡オフィス（福岡県）	ラックテクノセンター秋葉原（東京都） ラックテクノセンター北九州（福岡県）	名古屋オフィス（愛知県） シンガポール支店（シンガポール）	
関係会社	セキュリティ 株式会社ラックサイバーリンク（東京都） KDDIデジタルセキュリティ株式会社※（東京都） ※持分法適用関連会社			SIサービス 株式会社ソフトウェアサービス（東京都） 株式会社アクシス（福島県） 株式会社ジャパン・カレント（東京都）
上場市場	東京証券取引所 JASDAQ スタダード 証券コード 3857			



※本資料は2022年2月9日時点の情報に基づいて作成しており、記載内容は予告なく変更される場合があります。

※この配付資料に記載されている業績目標、将来の見通しなどの記述はいずれも、当社グループが作成時点で入手可能な情報を基にした予想または想定に基づく記述であり、これらは経済情勢や社会動向等の様々な経営環境の変化によって、直接・間接に影響を受けるものであり、実際の業績、戦略などは、この配付資料に記載されている予想または想定とは大きく異なる可能性があります。

※ LAC、ラック、JSOC、サイバー救急センターは株式会社ラックの登録商標です。その他記載されている会社名、製品名は一般に各社の商標または登録商標です。